

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

## 「税に助けられた今思うこと」

いわき市立勿来第二中学校

1年 五十嵐 愛斗

税…この夏休み、僕は、この言葉について考え、自分自身もこのしくみに助けられているのだと、改めて感謝の気持ちを持つことが出来ました。

税金については、小学校の授業で、水道・道路・学校・年金等に使われているということや、一番身近なものは消費税といったことを学んで、ただなんとなく理解していただけでした。それで、この作文を書くにあたって税金についても一度調べてみました。すると、消費税の使い道は、主に次の四つということが分かりました。それは、年金・医療・介護・子育て支援です。特に、僕が感謝しなければならないものがあることに気がつきました。医療です。僕はあまり体がじょうぶではなく、小さいころからよく病院にお世話になっていました。薬もよく飲んでいました。

小学校の卒業間近に持病が悪化してしまいました。そのため、この8月に入院し、手術をすることになりました。10日間の入院、手術だったので、どのくらいのお金がかかったのかなと思いました。母に尋ねてみると、思っていたよりも少額でした。入院だけでなく手術までしたのだから多額の医療費がかかっているはずなのに自己負担額が少なかったのは子どもの僕達には、子育て支援の一環として医療費が無料になる制度があるということに気がつきました。この制度は、みなさんの税金によって支えられている、僕が今まで、安心して医療を受けてこられ、特に今回手術が受けられたのは、みなさんが払ってくださった税金のおかげだということを実感しました。

そのことを知った今、僕に何ができるのかを考えてみることにしました。調べてみると、今は、「少子・高齢化」が問題視されているようです。これは、日本の将来にとっ

とても重要な問題と言われているようです。高齢者が増えると、税金が使われている医療や年金、介護などに必要なお金が増えていくことになります。でも、高齢者の生活を支える若い人の数は減っていくと予想されているので、今のままの税のしくみでは、わたしたちの生活を支えることが難しくなっていくということのようです。子どもが減っていくと税金を払う人がいなくなる可能性も不安視されているのです。僕はこれまで、税金があるおかげで生活できていることが分かりました。「納税の義務」があることも理解しています。大人になったら税金をしっかりと納めることで自分の役割をしっかりと果たしたいと思います。では、今自分に何ができるか。それは、今まで以上に健康に気をつけて生活し、人々の税金で支えられている医療費が無料になる制度を無駄遣いしないこと、学校の備品や教科書を大切に使うことによって、これからも助けてもらった感謝を示していきたいと思います。